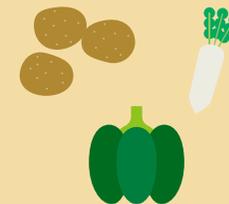


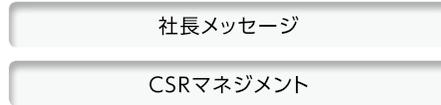
愛は食卓にある。



# キューピーグループ 社会・環境報告書 2016

ダイジェスト版





## 目次

企業情報	02
------	----

社長メッセージ	05
---------	----

キューピーグループの理念	07
--------------	----

特集	09
----	----

「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」で  
地域との絆を深化  
食育を通じた社会貢献

CSRマネジメント	12
-----------	----

コーポレート・ガバナンス	12
--------------	----

ステークホルダーとの対話	14
--------------	----

環境実績	15
------	----

活動報告	16
------	----

「めざす姿」 世界の食と健康に貢献していくために	16
-----------------------------	----

「姿勢」 お客様とのコミュニケーション	17
------------------------	----

「行動規範」に基づいた活動 品質第一主義	18
-------------------------	----

ダイバーシティの推進	19
------------	----

食育を中心とした社会貢献	20
--------------	----

地球環境への貢献	21
----------	----

新たな挑戦	22
-------	----

### 編集方針

#### ●基本的な考え方

「キューピーグループ社会・環境報告書」は、ステークホルダーの皆様から最も信頼していただける企業をめざし、誠実に透明性をもって、企業姿勢や活動をご報告しています。

2016年版では、2016年1月に改定した「グループ理念」の「めざす姿」、「姿勢」とともに、「グループ規範」の「行動規範」に沿って活動を整理し報告しています。

今後もこの報告書を通じて、できるだけ多くの皆様とコミュニケーションを図っていきたくと考えています。

#### ●レポートのプロフィール(報告対象範囲)

対象期間： 2015年度(2014年12月1日から2015年11月30日)を中心に作成

対象組織： キューピー株式会社および連結子会社・持分法適用会社 合計58社

### お問い合わせ

キューピー株式会社 CSR部 社会・環境チーム  
東京都渋谷区渋谷1-4-13  
Tel: 03-3486-3052 Fax: 03-3486-6151





目次

企業情報  
特集

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

## 企業情報

### 会社概要

キューピーグループは、創業以来「良い商品は良い原料からしか生まれない」という考えのもと、安全・安心、おいしさを追求した食品づくりに励んできました。

キューピーは1919年に創業。1925年に日本初のマヨネーズとしてキューピー マヨネーズを発売。以降、ドレッシングやパスタソースなど日本初の商品を世に送り出してきました。

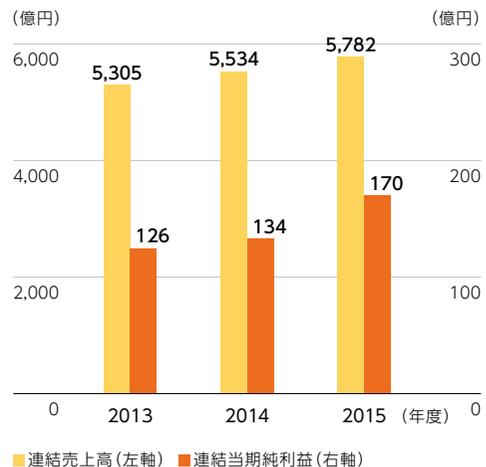
その歴史の中で培った技術力により、食品にとどまらず医薬品・化粧品原料まで、国内外の幅広いお客様に商品を提供しています。

商号	キューピー株式会社
設立	1919年11月
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-4-13
資本金	241億400万円
従業員数	3,483人(連結 24,997人)(平均臨時雇用者含む)

- 事業内容
- ① 「マヨネーズソース」その他一般ソース類の製造販売
  - ② 各種瓶缶詰食料品その他各種食料品の製造販売
  - ③ 食品添加物の製造販売
  - ④ 医薬原料、医薬品、医薬部外品、化粧品、その他化学製品の製造販売
  - ⑤ 飼料、肥料の製造販売
  - ⑥ 食料品および医薬品の製造用機器その他各種機器の製造販売およびこれらに付帯するエンジニアリング業務
  - ⑦ 管工事業、機械器具設置工事業、建築工事業および電気工事業
  - ⑧ 建築の設計、施工、監理およびコンサルティング業務
  - ⑨ 不動産の賃貸
  - ⑩ 食料品加工用設備の運転および管理
  - ⑪ 工場・店舗の総合清掃、警備および保安管理業務
  - ⑫ 農畜産業の経営
  - ⑬ 前各号に付帯する一切の業務

※ 2015年11月30日現在

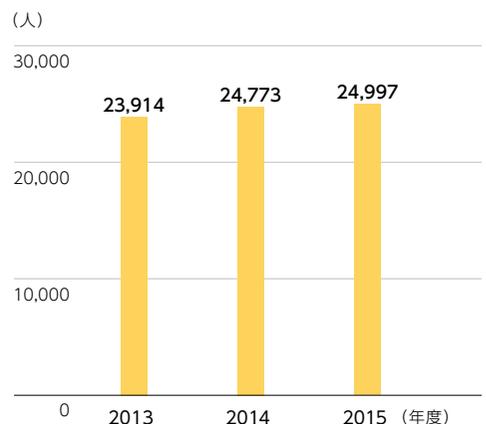
### 連結売上高／連結当期純利益



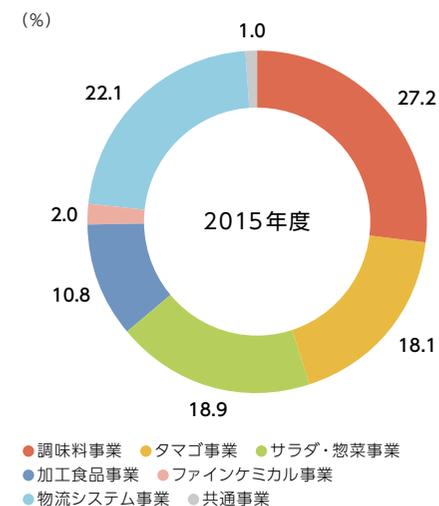
### 連結総資産／連結純資産



### 連結従業員数 (平均臨時雇用者含む)



### 連結事業別売上高構成比





目次

企業情報  
特集

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

## キューピーグループの6つの事業

▶ 企業情報

### 調味料事業



調味料事業は、主にマヨネーズとドレッシングにより構成されており、6つの事業の中で中核となる事業です。

家庭用から業務用まで、幅広くお客様のニーズをとらえた商品開発やメニュー提案を、国内だけではなく中国や東南アジアを中心とした海外でも行い、グループの成長を牽引しています。

### タマゴ事業



キューピーグループが年間に扱う鶏卵は約25万トン。国内で生産される鶏卵の約10%を取り扱っています。全国各地から安定的に調達した鶏卵を、国内にある36の工場で液卵などに加工し、自社のマヨネーズのほか、パン・菓子などのさまざまな食品の原料として食品メーカーへ販売しています。

また、液卵などを凍結させたりスクランブルエッグなどに調理加工して、ホテルやレストランをはじめとする外食産業などへ販売しています。

### サラダ・惣菜事業



少子高齢化や女性の社会進出、単身世帯の増加などを背景に、中食市場の伸張が続いており、カット野菜(パッケージサラダなど)や惣菜(サラダや煮物など)の需要が拡大しています。

現在、全国28カ所の生産拠点にて鮮度や地域性を重視した商品の製造を行い、全国のスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けだけではなく、宅配ルートや外食産業への販売も行っています。

### 加工食品事業



ジャムやパスタソースをはじめ、育児食(ベビーフード)や介護食などのヘルスケア商品を展開している加工食品事業は、赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれの世代の食に貢献していきます。

例えば、噛む力や飲み込む力が弱くなった方でも召し上がることができる日本初の家庭用介護食など、ユニークな商品をお届けするとともに、技術を活かした付加価値品の提供をめざしています。

### ファインケミカル事業



ファインケミカル事業は、ヒアルロン酸、医薬用EPA(イコサペント酸エチル)、卵成分(卵黄レシチンなど)の3つを柱に、食品・化粧品・医薬品の原料として加工メーカーへ販売しています。

キューピーのヒアルロン酸は国内で唯一、鶏冠抽出法と微生物発酵法の2つの製法で生産しており、独自の分子量コントロール技術などにより、幅広くお客様のニーズに応えています。

### 物流システム事業



食品物流専門の株式会社キューソー流通システム(2004年東証一部上場)を中心に、食品の特性に合わせた常温・定温・冷蔵・冷凍の4温度帯で、品質や鮮度を守り抜く物流システムを整え、食品の安全・安心を支える高品位な物流サービスの提供を続けています。

全国に広がる物流拠点や輸配送網などにより、食品市場を支えています。



目次	<b>企業情報</b>	社長メッセージ	キユーピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

## グループネットワーク

●国内 **47社** ●海外 **11社**  
 ●事業展開国 **8カ国** ●海外売上高比率 **6.7%**



▶ 企業情報

### 国内連結子会社

#### 調味料事業

- キユーピー醸造株式会社
- 株式会社ケイパック
- 株式会社サラダメイト
- 株式会社ディスペンパックジャパン
- 株式会社デフト
- 富士吉田キユーピー株式会社

#### タマゴ事業

- 株式会社カナエフーズ
- 株式会社キユーピーエッグワールド
- トレーディング
- キユーピータマゴ株式会社
- 株式会社全農・キユーピー・エッグステーション

#### サラダ・惣菜事業

- 株式会社イシカリデリカ
- 株式会社遠州デリカ
- 株式会社キタカミデリカ

- 株式会社グリーンメッセージ
- 株式会社グルメリカ
- 株式会社サラダクラブ
- 株式会社旬菜デリ
- 株式会社セトデリカ
- デリア食品株式会社
- 株式会社トスデリカ
- 株式会社ハンシンデリカ
- 株式会社ポテトデリカ

#### 加工食品事業

- アラハタ株式会社
- コープ食品株式会社
- 光和デリカ株式会社
- 鳥栖キユーピー株式会社
- 階上キユーピー株式会社

#### ファインケミカル事業

- 株式会社トウ・キユーピー

#### 物流システム事業

- 株式会社エスワイプロモーション
- エム物流株式会社
- 大阪サンエー物流株式会社
- キューソーサービス株式会社
- キューソーティス株式会社
- 株式会社キューソー流通システム
- ケイ物流株式会社
- 株式会社サンエー物流
- 株式会社サンファミリー
- ワイシステム株式会社

#### 共通事業

- 株式会社キユーピーあい
- 株式会社ケイ・エスエス
- ケイ・システム株式会社
- 三英食品販売株式会社
- 株式会社芝製作所

### 海外連結子会社

#### 調味料事業

- 北京丘比食品有限公司
- 杭州丘比食品有限公司
- 南通丘比食品有限公司
- PT. KEWPIE INDONESIA
- KEWPIE (THAILAND) CO., LTD.
- KEWPIE MALAYSIA SDN. BHD.
- KEWPIE VIETNAM CO., LTD.
- Q&B FOODS, INC.

#### タマゴ事業

- HENNINGSEN FOODS, INC.
- HENNINGSEN FOODS, NETHERLANDS INC.

#### 共通事業

- KIFUKI U.S.A. CO., INC.



目次

企業情報  
特集

**社長メッセージ**  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

## 社長メッセージ



“ キューピーグループらしい活動で社会・地域とのより良い共生とともに、食を通じた人々の健康に貢献していきます。 ”

### 「キューピーグループの理念」の見直し

#### 100周年の先を見据えた成長のために

国内食品市場の成熟化が進み、社会環境も大きく変化する中、キューピーのグループ経営の本格化を図るため、2006年に「キューピーグループ経営理念」を制定しました。その後も激しく変化する環境の中、新たな中期経営計画を機に2019年に迎える創立100周年とその先の未来を見据えて、私たちのめざす姿や将来への想いと志をより一層明確にするため、理念体系の見直しを行いました。

また、創始者である中島董一郎が大切にしていた『世の中は存外公平なものである』という教えを、あらためて私たちも大切に継承していく教えとして明確に位置づけました。

「めざす姿」は、事業領域の拡大に伴い、『おいしさ・やさしさ・ユニークさ』をもって国内と海外を舞台に成長し、食を通じて世界に貢献していくキューピーグループの意志を明確にしました。

### 「グループ理念」・「グループ規範」とCSRの推進

#### 理念の実践で、社会へ貢献する

社是の『楽業偕悦』には、仲間とともに仕事(業)を楽しみ、その喜びをとも(偕)にする、という意味が込められています。“仲間”の視点を社会にまで広げて考えると、より良い企業市民として社会・地域の中で社会的責任を果たし貢献していくことが『楽業偕悦』の実践であるといえます。

「行動規範」にも掲げている『食育を中心とした社会貢献』を積極的に推進するなどキューピーグループらしい活動で社会・地域とのより良い共生とともに、食を通じた人々の健康に貢献していきます。

また、私たちの事業活動は自然の恵みによって支えられています。「めざす姿」にある『おいしさ・やさしさ・ユニークさ』の“やさしさ”とは、そうした身の周りの恵みに感謝しようという気持ちを表しています。自然の恵みに感謝し、資源の有効活用と環境保全に真摯に取り組むことで、持続可能な社会を次世代へつなぎます。

こうした社会貢献、地球環境への貢献を通して、キューピーグループの社会性を高め、より信頼されるグループをめざします。



目次	企業情報	<b>社長メッセージ</b>	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

▶ [社長メッセージ](#)

## 新たな中期経営計画 事業展開とCSRの関わり

### グループの社会性向上をめざす

2016年度から始まる新たな中期経営計画では「グループ協働」をテーマに、グループ経営により磨きをかけます。お客様の声をしっかりと聴き取り、今まで以上にお客様の要望に向き合って、商品の改良や育成・サービスの向上に活かしていきます。そのような商品やサービスを、グループの強みである内食・中食・外食の幅広い販売をクロスすることにより、お客様のライフスタイルに合わせ提供していきます。グループの力を結集し最大にして、お客様に価値と感動をお届けできるグループへ成長していきます。

一方で、深刻化する気候変動を抑制するために、地球規模での取り組みが不可欠となってきています。世界の食と健康に貢献することをめざすキューピーグループにとって、グローバルな視点からも企業の社会的責任(CSR)を果たしていくことが求められています。

私たちは、「行動規範」に『地球環境への貢献』を掲げ、先に述べた『食育を中心とした社会貢献』と併せ、従業員一人ひとりの高い参画意識とともに、国や地域、それぞれの特徴やニーズに合わせた「環境と社会課題」の一体的な解決に向けて、キューピーグループらしいユニークな活動に取り組んでいきます。

グループの力を最大化し、お客様に価値と感動をお届けする



グループのユニークさの発揮と創造

キューピー株式会社  
代表取締役 社長執行役員

三宅 峰三郎



目次	企業情報	社長メッセージ	<b>キューピーグループの理念</b>
	特集	CSRマネジメント	活動報告

## キューピーグループの理念

2016年1月、キューピーグループは「グループ理念体系」を改定しました。さまざまに変化する社会環境の中、2019年の創立100周年を超えた未来の発展を見据え、「未来に向けて一層発展していくために」「さらに想いと志を継承していくために」「グループ全体でより共有していくために」という目的のもと、新しい理念体系へと移行しました。

### キューピーグループの理念

社 是

# 楽業偕悦

社 訓

- 道義を重んずること
- 創意工夫に努めること
- 親を大切にすること

(大切にしている教え)『世の中は存外公平なものである』

創始者中島董一郎は若き日に「世の中は横着者やずるい者が得をするように見えることもあるが、長い目で見ると誠実で真面目に努力する人が認められるもの」という主旨の文章に出会い、深い感銘を受けました。以来、生涯を通じて「世の中は存外公平なもの」と信じ、どのような困難にあっても「何が本当か、何が正しいか」を判断基準に創意工夫に努め、お世話になった方々への感謝の心を大切に続けました。1992年迄は社訓の一つでもあったこの言葉を、私たちは今も大切な教えとして継承しています。

め ざ す 姿

私たちは  
「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって  
世界の食と健康に貢献するグループをめざします

姿 勢

グループ規範を遵守し、  
お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様から  
最も信頼していただけるよう努めます

### 社是・社訓について

創始者の中島董一郎は、仕事の基本的な考え方について次のように語っていました。「志を同じくする人と業を楽しんで悦びをともにする、そこに仕事のやりがいがあると思います。まず心がけなければならないのは、道義を重んずること。つまり目先の損得ではなく、何が本当か、正しいかということの判断の基準にすることです。しかし、それだけでは目的を実現することはできません。そこで次に大切なのは創意工夫です。世の中は存外公平なものであり、もし公平でないと感じるものがあれば、道義を重んずることに問題はなかったか、創意工夫に欠けていたからではないかと反省をしてみてください。そしてもうひとつ、親孝行をしてください。わが子を思う親の気持ちをありがたく感じ、それに報いようとする気持ちが親孝行です。したがって親孝行のできる人とは、人の好意をありがたく感じ、それに報いることのできる人です。そういう人の周囲には、また好意を持って接してくれる人が集まり、その会社はおのずから発展するはずで。私たちは中島董一郎の仕事に対するこうした考えを、誇りを持って社風として受け継いでいます。



目次	企業情報	社長メッセージ	<b>キューピーグループの理念</b>
	特集	CSRマネジメント	活動報告

▶ [キューピーグループの理念](#)

## グループ規範

キューピーグループは、社是社訓を基本とした理念のもと、私たちの活動を支えていただいているお客様、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会などのステークホルダーの皆様から、最も信頼していただけるよう私たちの姿勢を「グループ規範」として表しています。

グループ規範の心を一人ひとりの従業員が理解して誠実に遵守していくことは、企業としての一層の透明性とお客様からの信頼につながるものと考えています。

### 倫理規範

(より良い企業市民として守っていくべきこと)

#### 法令の遵守

私たちは、国内外の各種法令、社会的な規範、そして社内規程を遵守し、高い倫理観を持って企業活動を行います。

#### 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、人種・国籍・宗教・性別・年齢・心身障害等による差別やハラスメント行為を決して行いません。

#### 公正・健全な企業活動

私たちは、公正・自由な競争を行うとともに、お取引先や株主・投資家、行政・政治に対して透明で健全な関係を築きます。

#### 情報セキュリティの徹底

私たちは、お客様・従業員の個人情報やお取引先の機密情報を大切に取り扱い、不正な開示・使用を行いません。

#### 反社会的勢力への対応

私たちは、社会的秩序を乱し脅威を与える反社会的勢力に対し、断固たる行動をとり、一切の関係を遮断します。

### 行動規範

(キューピーグループらしさを高めるために推進すること)

#### 品質第一主義

私たちは、品質を最優先に安全・安心な商品をはじめ、すべての活動の質を高め、お客様の信頼にお応えします。

#### ダイバーシティの推進

私たちは、世界で働く従業員一人ひとりの個性や成長する意欲を尊重し、能力が最大限に発揮できるよう努めます。

#### 食育を中心とした社会貢献

私たちは、食育を中心とした社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図るとともに、食を通じた人々の健康に貢献します。

#### 地球環境への貢献

私たちは、自然の恵みに感謝し、資源の有効活用と環境保全に真摯に取り組むことで、持続可能な社会を次世代へつなぎます。

#### 新たな挑戦

私たちは、前向きな失敗に学びながら、新たな挑戦を続けることで、会社と個人の成長を実現します。



目次

企業情報  
**特集**

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

特集

「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」で地域との絆を深化  
**食育を通じた社会貢献**



◀ マヨネーズ教室



◀ 福島県産野菜料理コンテスト



“「マヨネーズ教室」を起点に、地域の食文化の創出にまで貢献する。Smileリレーは食育の新たな可能性を開拓するものです。”

キューピー株式会社  
仙台支店 郡山営業所 所長  
新谷 昭人

START **プロローグ 新たな食シーンの創出に向けたプロジェクトが発足**

「オープンキッチン」や「マヨネーズ教室」など、食育を通じた社会貢献に取り組むキューピーグループ。食の楽しさや野菜のおいしさを伝えるとともに、地域・社会との共生を図っています。仙台支店 郡山営業所では、わくわく活動(全社的な改善活動)の一環として継続的な食育活動を実施。「Smileリレープロジェクト」と名付けられたこの活動は、食育の新たな可能性を示す事例として、グループ全体に共有されました。

キューピーグループの食育活動(2015年度実績)

● オープンキッチン(全国5工場)とマヨテラスの見学

● マヨネーズ教室(小学校での食育活動)



福島県は農業が盛んな地域。もちろん野菜の生産量も多く、2014年産の出荷量で見るときゅうりが全国3位、アスパラガスが全国6位、トマトが全国7位と、わが国の農業生産に大きく貢献しています。2011年、東日本大震災が発生すると、福島県の農業は大きなダメージを被りました。福島県産野菜に対する世間の偏見も生まれ、復興への大きな障壁となったのです。

そこで、仙台支店 郡山営業所では、「福島の食卓に笑顔を取り戻そう!」を社会貢献活動のテーマに掲げ、従来の「マヨネーズ教室」の枠を超え、福島県産野菜の地産地消サイクルの構築と、その先にある「新たな食シーンの創出」までを見据えた、計画的な社会貢献プログラムへの挑戦を開始しました。

まず2011~2013年の3年間をかけて、じっくりと土台づくり。学校給食を軸に継続的な食育活動を実施していき、3年目には福島県全エリアの小中学校にまで活動の輪がひろがりました。この大きな成果は、プロジェクトのゴールではありません。「福島の食卓が『笑顔』になる食シーンの創出」をめざした「Smileリレープロジェクト」は、まさにここから始まるのです。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

▶ 特集

1st バトン

## 福島県産野菜の地産地消サイクルをつくり出す



「Smileリレープロジェクト」は、郡山営業所のメンバーの創意工夫と、地域への感謝の気持ちを込めた、これまでにない取り組みでした。その特徴は、2014～2016年の3年間でそれぞれの年度目標を立て、マヨネーズ教室を起点に「子どもたちの笑顔」「地域の笑顔」「グループの笑顔」とまさにリレーのようにスマイルをつなげていくという、壮大なものでした。

1年目となる2014年。郡山営業所のメンバーが福島県二本松のきゅうり農園を訪れ、まず自分たちが野菜づくりを体験することから始めました。生産者の方たちとつながり、野菜栽培の現場を知ることで、小学校での食育活動も一層深みが増します。結果、子どもたちの地元野菜に対する興味も強まり、少しずつ地産地消のサイクルができあがってきました。

郡山営業所のメンバーときゅうり農園をつないでくれたのは、JA全農福島の職員の方々。この出会いが、Smileリレーの次のバトンとなるのです。



2nd バトン

## サイクルがまわる。ひろがる。さらに“つながる”



2015年5月1日。地元の有力紙である福島民報に、ある記事が掲載されました。見出しは「キュウリの観察日記付けて」。この記事こそ、Smileリレーの活動のひろがり、地産地消サイクルの進化を世に伝えるものでした。

2年目の活動テーマは、サイクルの拡大・定着と、スマイルを子どもたちから地域へとひろげること。その実現には、他企業との協働による波及効果の拡大が不可欠でした。そこで、福島県産野菜の普及をめざしたJA全農福島の食育活動と、「マヨネーズ教室」の協働が始まります。小学校にきゅうりの苗をお届けし、子どもたちが育て、収穫した野菜を手づくりマヨネーズで食べる。食材への感謝の気持ちと、福島県産野菜への愛着を同時に育むこの企画には、福島県内39校の小学校が参加し、地元新聞をはじめ、福島テレビでも紹介されるほどでした。

こうした地元メディアとのつながりが次のバトンです。Smileリレーが県内で認知度を高めたことで、志を同じくする地元企業との協働が次々に実現していきます。



## わくわく活動とは？

キューピーグループは、日頃の業務の改善活動の成果を発表する「わくわく活動合同発表会」を毎年実施しています。国内外を12のエリアでわけ、各事業所が取り組んだ改善事例を発表・表彰するもので、活動テーマも生産性の向上からワークライフバランス、食育活動、システム改革や環境対策など、生産から販売までさまざま

です。毎年、海外を含めたグループ会社の改善事例が発表されますが、それらはすべて各事業所が自発的に取り組んだもの。こうした日々の業務における仲間たちの創意工夫が、キューピーグループの品質の源泉です。



▲ 2015年「わくわく活動合同発表会」表彰式



目次

企業情報  
**特集**

社長メッセージ  
 CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
 活動報告

▶ 特集

3rd パン

新たな食シーンが地域の食文化を生み出す



Smileリレープロジェクト



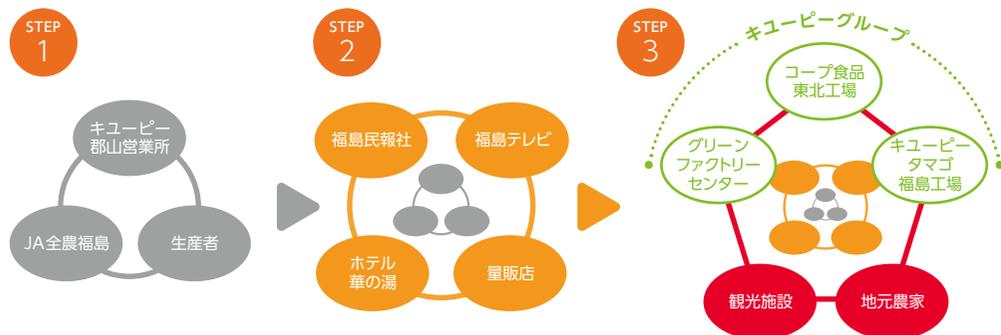
SMILE FOR THE FUTURE

活動を力強く後押ししてくれた福島民報社の紹介により、地元温泉旅館(ホテル華の湯)や量販店とのタイアップが始まりました。「福島県産食材×マヨネーズ」をテーマに多くのメニューが開発され、折しも2015年に始まった「マヨ1グランプリ」(17ページ参照)と連動したことで、地域の人たちと大いに盛り上がる一大イベントに発展したのです。こうして、「新たな食シーンの創出」という目標は、ひとつの到達点に達しました。

サイクルは拡大し、また開始点に戻ります。Smileリレーの最終ランナー「グループの笑顔」の創出に向け、プロジェクトの成果を県内のキューピーグループ(4事業所・278名)のメンバー全員に共有化し、想いをひとつにしたのです。その過程で、グループ社員による「福島県産野菜」×「キューピー マヨネーズ」料理コンテストを開催。新たな「福島の食文化」が提案されるとともに、喜びを共有することでスマイルがつながっていきました。

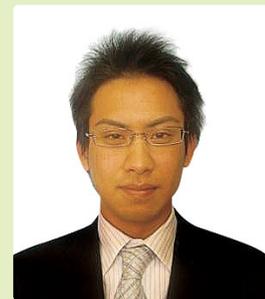
2016年、プロジェクトはまだ進行中。観光施設や地元農家との協働も予定され、サイクルのさらなる拡大が期待されます。地域とのつながりをひろげることで、ますます社会から必要とされるキューピーグループでありたい。Smileリレーは、食育を通じた社会貢献の可能性を広げていきます。

Smileリレー 「想い」をつなぎ、取り組みの輪が広がる



Message

「笑顔」いっぱいの子どもたちに  
 出会っていききたい



JA全農福島 園芸部園芸課  
 三浦 恒さん

JA全農福島では、福島県の主力野菜品目である「きゅうり」を使用して、県内の子どもたちに地産地消やきゅうりが持つ効用などを学んでもらうとともに、野菜生産者への感謝の気持ちを育んでもらう「食育活動」を2006年度より実施しています。

一昨年よりキューピー様が子どもたちへの食育活動として「マヨネーズ教室」を展開されていることを教えていただき、子どもたちへの食育活動への想いがJA全農福島の食育活動の方向性と一緒だと共感し、企画タイアップをスタートさせていただきました。昨年、実際にタイアップした小学校での教室に参加させていただき、「きゅうり栽培大作戦」+「マヨネーズ教室」を実施させていただいたことは大変有意義だったと感じています。今後も自分たちで作った野菜(きゅうり)を、手作りしたマヨネーズで食べて「笑顔」いっぱいの子どもたちに出会っていききたいと思いますので、引き続きタイアップをよろしくお願いいたします。





目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	<b>CSRマネジメント</b>	活動報告

▶ CSRマネジメント

## 内部統制・リスク管理

### リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント基本規程により、全社のリスクに関しては代表取締役 社長執行役員を委員長とするリスクマネジメント委員会に情報を集中し、そのリスクの評価、優先順位などを総括的に管理しています。

### コンプライアンス委員会

当社は、コンプライアンス規程を制定し、取締役および従業員が法令・定款および当社の創業の精神やグループの理念を遵守した行動をとるためのグループ規範を定めています。また、その徹底を図るため、コンプライアンス担当取締役がコンプライアンス委員会を統括することで、全社横断的なコンプライアンス体制の整備および問題点の把握に努めるとともに、同委員会を中心にコンプライアンスマニュアルの整備や従業員教育などを行っています。こうした活動はコンプライアンス担当取締役が定期的に取締役会および監査役会に報告しています。

### ヘルプライン

コンプライアンス委員会の下に公益通報者保護制度に対応した内部通報体制として、当社監査役、社外の弁護士、第三者機関などを情報受領者としたヘルプラインを設置しています。情報受領者から報告・通報を受けたコンプライアンス委員会はその内容を調査し、違反行為があれば、再発防止策を担当部門と協議のうえ、決定し、処分結果を含めて社内公表するとともに、全社的に再発防止策を実施させます。

### 情報セキュリティ委員会

情報セキュリティに関しては、会社情報取扱規程、個人情報保護基本規程およびそれらに関する各管理マニュアルを制定し、これらに従って情報の保存・管理を行っています。また、情報セキュリティ委員会を中心に、情報管理に係る従業員教育や各規程などの運用状況の検証、各規程などの見直しを行っています。

### 内部監査室

品質・環境・安全・労務などの自主監査スタッフと連携し、各部署の日常的なリスク管理状況を監査し、定期的にリスクマネジメント委員会、取締役会、監査役会にリスク管理に関する事項、および社内のリスク管理体制整備の進捗状況を報告します。

### 経営アドバイザリーボード

当社代表取締役 社長執行役員の諮問機関として設置しています。当社グループの健全性、公正性、透明性を維持、向上させるための助言・提言を受け、意思決定に反映させています。

定例会を年間2回開催し、必要がある場合は随時行います。社外委員として有識者4名と当社の代表取締役 社長執行役員の他、議題に応じて取締役が参加します。また、当社の社外役員もオブザーバー委員として加わっています。

定例会では、各委員の専門分野の見地からのみならず、消費者の視点からも発言いただき、活発な意見交換が行われています。

## CSR活動の推進

### CSR推進体制

キューピーグループは、広報・CSR本部において2015年、社会・環境推進部をCSR部に改編し、食育と社会・環境活動を推進する体制を整えました。

### グループ規範の経営会議での協議

理念体系の見直しにあわせて、新たに位置づけた倫理規範と行動規範からなるグループ規範を実践していくために、経営会議において毎回それぞれの規範を取り上げ、方向性や具体策の協議を行っています。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	<b>CSRマネジメント</b>	活動報告

## ステークホルダーとの対話

▶ CSRマネジメント



### 主な対話の手段 (2015年度実績)

<p><b>お客様</b></p> <p>行動規範のもと、品質を最優先に安全・安心な商品をはじめ、すべての活動の質を高め、お客様の信頼にお応えしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様相談室(お客様の声 41,047件/年)</li> <li>● コミュニティサイト「キューピーコミュニティ おはなしダイニング」(会員数9,708人)</li> <li>● コミュニティサイト「キューピー マヨネーズ ファンクラブ」(会員数36,221人)</li> </ul>
<p><b>従業員</b></p> <p>倫理規範のもと、人権を尊重し差別やハラスメント行為を行わず、また行動規範のもと、従業員一人ひとりの個性や成長する意欲を尊重するダイバーシティを推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人事考課を含む面接</li> <li>● キャリア自己申告(1回/年)</li> <li>● わくわく活動合同発表会(1回/年)</li> <li>● 従業員意識調査(2年に1回)</li> <li>● 役員による事業所訪問(2回/年)</li> <li>● 労使委員会</li> </ul>
<p><b>株主・投資家</b></p> <p>倫理規範のもと、透明で健全な関係を築いていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定時株主総会(1回/年)</li> <li>● アナリスト向け決算説明会(2回/年)</li> <li>● 株主優待見学会(2回/年、3事業所)</li> </ul>
<p><b>取引先</b></p> <p>倫理規範のもと、公正・自由な競争を行うとともに、透明で健全な関係を築いていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原材料調達先様への定期・不定期訪問および現場交流会(200回超/年)</li> <li>● 営業活動を通じた取引先とのコミュニケーション</li> </ul>
<p><b>地域社会</b></p> <p>行動規範のもと、食育を中心とした社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンキッチン(工場見学)とマヨテラスの見学(106,837人/年)</li> <li>● マヨネーズ教室(食育活動)(20,927人/年)</li> <li>● 食をテーマにした講演会(61回/年)</li> <li>● マッチングギフト制度「QPeace」支援先団体の活動報告会(3回/年)</li> <li>● 各エリアにおける地域とのコミュニケーション</li> </ul>

## 2015年度の対話

2015年度は、人権に関する社会要請の高まりから、キューピーグループのマッチングギフト制度「QPeace」で寄付支援をしているNGO・NPOを中心に、人権をテーマとした対話を行いました。

2015年7月、認定NPO法人かものはしプロジェクトより、「カンボジア・インドでの子どもが売られる問題について」の講演を行っていただき、従業員約30人が参加しました。2015年9月には、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本の活動報告会を実施。従業員約60人が参加し、世界の紛争地等で起きている子どもたちの人権課題についてご説明をいただきました。

▶ アムネスティ・インターナショナル 日本 土井陽子さんによる活動報告の様子



▶ かものはしプロジェクト 村田早耶香さんによる講演の様子



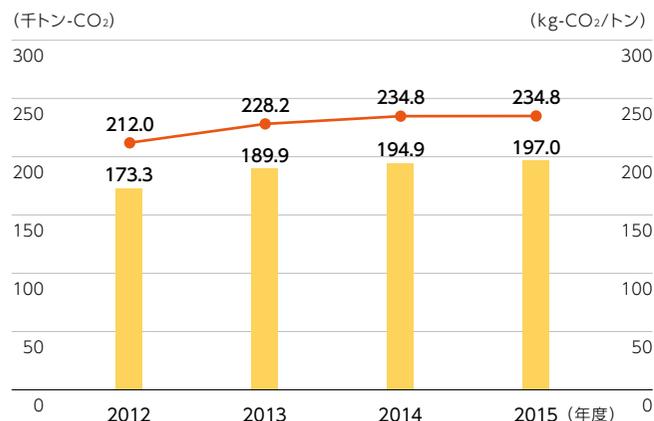
目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	<b>CSRマネジメント</b>	活動報告

## 環境実績

▶ CSRマネジメント

### CO<sub>2</sub>排出量

#### ●CO<sub>2</sub>排出量



■ 排出量(千トン-CO<sub>2</sub>) ● 排出量原単位(kg-CO<sub>2</sub>/トン)  
キューピーグループ生産工場の実績

#### 目標値

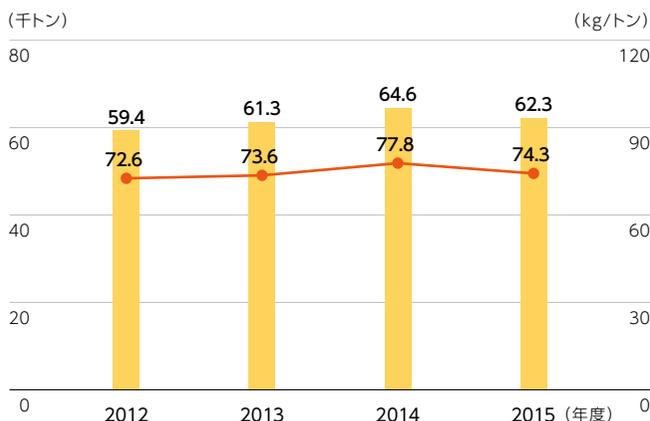
2015年度までに2012年度対比で  
CO<sub>2</sub>排出量原単位4.5%の削減

2015年度、キューピーグループ工場でのエネルギー使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、総量197.0千トンで前年度比1.1%増加、生産数量1トン当たりのCO<sub>2</sub>排出量(原単位)は234.8kgで前年度比0.03%減少、2012年度比で10.8%増加となりました。

※ 2013年度以降、電力の排出係数の大幅な変化により、排出量が増加しています。この影響がない場合は、原単位で2012年度対比4.0%の削減となります。

### 廃棄物排出量

#### ●廃棄物排出量\*



■ 排出量(千トン) ● 排出量原単位(kg/トン)  
\*卵殻粉などグループ内で再資源化している副産物を除く  
対象:キューピーグループ生産工場

#### 目標値

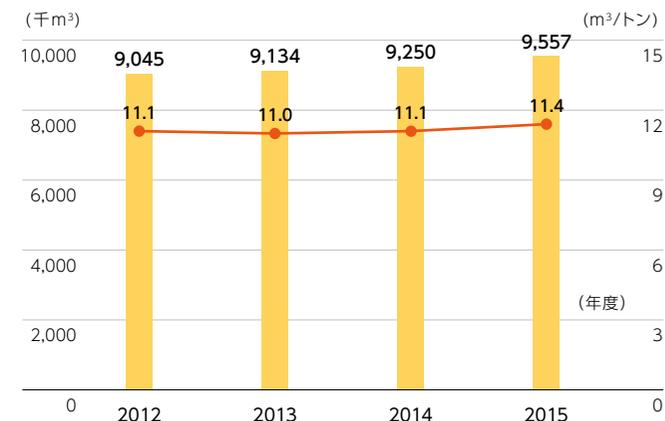
2015年度までに2012年度対比で  
廃棄物排出量原単位5%の削減

2015年度、キューピーグループ工場での廃棄物排出量は62.3千トン。生産数量1トン当たりの廃棄物排出量(原単位)は74.3kgで前年度より4.5%減少、2012年度比では2.3%増加となりました。

歩留まり向上や飼料化などに取り組んできました。今後はさらに付加価値化につながる有効活用を推進します。

### 水使用量

#### ●水使用量



■ 水使用量(千m<sup>3</sup>) ● 水使用量原単位(m<sup>3</sup>/トン)

2015年度、キューピーグループ工場の水使用量は9,557千m<sup>3</sup>で前年度比3.3%増加。生産数量1トン当たりの水使用量(原単位)は11.4m<sup>3</sup>となり、前年度比2.3%の増加となりました。

水の再生や循環利用などに取り組んでいます。生産工程では洗浄方法の見直しなどによる節水に努めています。



目次

企業情報  
特集

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

「めざす姿」

# 世界の食と健康に貢献していくために

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献するグループをめざします—— 私たちが描く未来像は、国内においてはキューピーグループの経営資源を駆使したユニークさ溢れる展開で発展し、海外においては国内で培った力を活かして躍動感をもって成長している姿です。それらを通じて国内外のお客様に、キューピーグループならではの食の喜びや楽しさ、そして健康をお届けしていきたいという想いをこめています。それぞれの国のライフスタイルや食の歴史・文化を理解し、寄り添いながら、キューピーグループが持つ「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」によって新しい食べ方や味を提案し、世界中の人々の心と身体の健康に貢献していきます。



商品を通じた健康への取り組み

キューピーは、卵不使用のマヨネーズタイプ調味料「キューピー エッグケア」を新発売しました。キューピーの独自技術により、卵を使用せずにマヨネーズのコクを再現。マヨネーズ同様に、さまざまな料理に利用できます。



サービスを通じた健康への取り組み

外食における野菜不足を解消し、健やかな生活を応援したいという想いから、グルメ情報検索サイトを運営する株式会社ぐるなびと協働し、野菜摂取向上を図る「MOTTO VEGE (モットベジ)」プロジェクトを始動しました。



ノロウイルス不活化製剤の開発

冬場のノロウイルスによる食中毒や感染症の流行が社会問題の一つとなっています。卵白リゾチームの新たな可能性を探る研究から、新機能リゾチームによるノロウイルス不活化効果のある業務用アルコール製剤の開発に成功しました。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

「姿勢」

# お客様とのコミュニケーション

**キューピーグループのアプローチ>>>** グループ規範を遵守し、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様から最も信頼していただけるよう努めます——この「姿勢」は、グループ理念を実践していくうえで大切にしていきたいこと、そして、より良い企業市民として守っていくべきことを示しています。私たちの活動を支えていただいているお客様、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会などのステークホルダーの皆様から、最も信頼していただけるための約束を表しています。キューピーグループでは、お客様とのコミュニケーションを通じて、お客様に喜んでいただける良い商品をつくるために、お客様からのご意見・ご要望を日々の活動につなげています。また、お客様との対話を大切にし、日々の食卓をさらに楽しくする活動も推進しています。2015年は、「キューピー マヨネーズ」の発売から90年を記念して、年間を通してお客様にダイレクトに感謝をお伝えするさまざまなイベントを開催しました。



▲ お客様の声委員会

お客様から寄せられたご意見を、複数部署の責任者で構成される「お客様の声委員会」で審議し、商品・サービスの改善につなげています。そのご意見と対応の内容は、ホームページで随時公開しています。



▲ 90周年イベント①「ファン感謝祭」の開催

東京都内の見学施設「マヨテラス」では、3月1日のマヨネーズの日、「キューピー マヨネーズ ファンクラブ 会員」の皆様とともに、「キューピー マヨネーズ」発売90周年を祝う「ファン感謝祭」を開催しました。



▲ 90周年イベント②「マヨ1グランプリ」の開催

2015年にスタートした「マヨ1グランプリ(協賛: キューピー)」では、全国の地元食材の新たな美味しさを発見するべく、食材の美味しさを引き立てるマヨネーズを使った料理を開発。47品の個性豊かなマヨネーズ料理が生み出されました。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

「行動規範」に基づいた活動

# 品質第一主義

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは、品質を最優先に安全・安心な商品をはじめ、すべての活動の質を高め、お客様の信頼にお応えします——キューピーグループでは、「良い商品は良い原料からしか生まれぬ」という信念のもと、安全でおいしい商品づくりに努めています。また、研究、開発、生産、営業、物流まで、従業員一人ひとりが日々の仕事の質を高めることで企業への信頼が高まり、お客様をはじめとするさまざまなステークホルダーからの期待に応えることにつながります。安全でおいしい商品をつくり、お客様の信頼に応える仕事をするので安心が生まれ、食を通して、豊かで健やかな生活を実現することができます。誰かひとりが考えるのではなく、従業員一人ひとりが品質と向かい合うことで、“品質を守る人づくり”と“品質を守る仕組みづくり”を進め、品質第一主義を具現化していきます。



🔴 **グローバルスタンダードに対応する品質管理**

食品安全マネジメントシステムの国際認証規格であるFSSC22000を、品質に関するグループ標準に組み込み、2013年から海外を含む全製造工場での認証取得に取り組んでいます。2015年までに海外を含む92工場中77工場での認証を取得しています。



🔴 **品質を守る人づくり**

品質を守るのは“人”との考えのもと、ものづくり学校の中に食品法令や微生物などの品質に関わる専門カリキュラムを備えた「品質コース」を2015年に開講し、より体系化された人材教育を実践しています。



🔴 **わくわく活動合同発表会**

QC活動から発展した「第33回わくわく活動合同発表会」を2015年10月に開催しました。2012年からは中国大会、2014年からは東南アジア大会からも優勝チームが参加し、グローバルで活動共有し、水平展開する場となっています。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

「行動規範」に基づいた活動

# ダイバーシティの推進

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは、世界で働く従業員一人ひとりの個性や成長する意欲を尊重し、能力が最大限に発揮できるよう努めます——今後、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を支えるためには、多彩な経験を持つグループ従業員の活躍が必要になります。国内においては、「女性活躍推進法」が施行されるなど、女性が活躍できるような環境の整備が求められています。キューピーグループは、多様な人材がさまざまな場面で活躍できるような環境を整えるために、ダイバーシティを推進します。2015年10月にダイバーシティ推進プロジェクトを発足し、「多様な人材の活躍」に向け取り組みをスタートしました。



▲ **ダイバーシティ推進プロジェクト**

従業員がダイバーシティを考えるきっかけづくりのために、社外監査役である法政大学教授の武石恵美子先生に「ダイバーシティマネジメントとは」というテーマで管理職向けセミナーを実施しました。



▲ **育児復帰者セミナー**

キューピーでは、育児休業からの復帰者支援として、職場復帰前に本人と上司の双方にセミナーを実施しています。上司との面談を通じ、双方が職場復帰への意識付けと事前の心構えや準備をすることで、円滑な職場復帰をサポートしています。



▲ **障害者が活躍する農業事業**

キューピーの特例子会社キューピーあいでは60人を超える障害者が活躍しています。大切にしているのは、障害で判断せず一人ひとりの個性や能力を見出すこと。得意分野で力を発揮できるように販促物作成や清掃、農業など多岐にわたる業務を展開しています。



目次

企業情報  
特集

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

「行動規範」に基づいた活動

# 食育を中心とした社会貢献

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは、食育を中心とした社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図るとともに、食を通じた人々の健康に貢献します——近年、核家族化、共働きの増加などにより子育ての環境は大きく変化しています。また、子どもの貧困といった社会的課題も表出し、子育て支援の課題は多岐にわたり、その必要性が高まってきています。子どものうちに健全な食生活を確立することは、豊かな人間性を育むことにもつながり、生涯にわたる健康の基礎となります。一方、高齢化が進む中、健康寿命を延ばすことで個人の生活の質をあげること、社会的損失を防ぐことも大きな社会的課題となっています。キューピーグループは、子育て支援や高齢者の健康寿命の延伸などの課題解決をめざし、食育を中心に社会貢献活動を進め、より良い社会の実現に貢献します。



④ 「マヨネーズ教室」の開催

小学生などに食の楽しさと大切さを伝える出前授業「マヨネーズ教室」は、全国各エリアでの運営体制が整ってきたことで、2015年度のマヨネーズ教室の実施校数(延べ406校)、参加者(約2万人)ともに前年を大幅に上回りました。



④ メディアライブラリー活動

キューピーは、食を取り巻くさまざまな情報を正しく学べるよう、ビデオやDVDを制作し、全国の市区町村生涯学習課、社会福祉協議会、小学校PTA団体など、約3千カ所の施設に無償配布しています。2015年度は、野菜の摂取を促す啓発DVDを制作しました。



④ 被災地への復興支援活動

震災直後の被災地復興から、コミュニティ再生に向けた支援活動を展開しています。2015年度は、宮城県南三陸町のNPOと協働して、郷土食材を活用した料理教室を4回開催しました。



目次

企業情報  
特集

社長メッセージ  
CSRマネジメント

キューピーグループの理念  
活動報告

「行動規範」に基づいた活動

# 地球環境への貢献

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは、自然の恵みに感謝し、資源の有効活用と環境保全に真摯に取り組むことで、持続可能な社会を次世代へつなぎます——キューピーグループの事業活動は、原材料をはじめとした豊かな自然の恵みのもとに成り立っており、将来にわたってこれまでと同様の環境を残し、次世代に引き継いでいく使命があると考えています。キューピーグループでは、環境基本方針を「生産から販売の全ての活動と商品で、環境への配慮に努めます。」と定め、その行動指針に基づき、キューピーグループ各社が目標を定めて環境保全活動に取り組んでいます。2015年に最終年を迎えた前中期経営計画では、CO<sub>2</sub>排出量と廃棄物排出量において、生産数量1トン当たりの原単位について目標値を定めて活動してきました。



再生可能エネルギーの導入

キューピーグループでは、遊休地や工場・倉庫の屋根を活用して太陽光パネルの設置を進めています。2015年度までに9カ所の発電設備が稼働しており、その発電能力は約2,500kWとなっています。



「TSファーム」の取り組み

キューピーが独自に開発した植物工場「TSファーム」を運営しているグリーンファクトリーセンターでは、野菜の品質を保ちながら、従来の高圧ナトリウム照明をLED化して30%以上の省エネルギーを達成しました。



循環型社会への取り組み

グループの惣菜販売会社デリア食品では、惣菜工場から発生した食品残さなどを原料とした、栄養価が高く吸収の良い液体飼料で育てた、高品質の豚肉を使用した惣菜などを開発しています。



目次	企業情報	社長メッセージ	キューピーグループの理念
	特集	CSRマネジメント	活動報告

「行動規範」に基づいた活動

# 新たな挑戦

**キューピーグループのアプローチ>>>** 私たちは、前向きな失敗に学びながら、新たな挑戦を続けることで、会社と個人の成長を実現します——「食の安全」への社会の関心が高まる中、キューピーグループはイノベーションを通じて新たな価値を創造し、ステークホルダーの皆様の期待に応えていきます。マヨネーズやドレッシング、さらには卵や野菜まで幅広い研究開発を推進するとともに、ワークスタイルの変革など、イノベーションを創出する組織・職場づくりにも取り組んでいます。失敗を恐れず、何事にもチャレンジ精神を発揮することは、キューピーグループらしさの基盤です。お客様の「期待に応える」ことはもちろん、「期待を超える」価値を提供するために、これからも新たな挑戦を続けていきます。



賞味期間延長の取り組み

キューピーグループでは、家庭での食品ロス削減に貢献するために、賞味期間の延長に取り組んでいます。キューピー マヨネーズ(50g~450g)とキューピーハーフでは、賞味期間を10カ月から12カ月に延長しました。



加工プロセスの技術向上

ロングライフサラダは、これまですべての商品で一定の殺菌条件が用いられてきました。今回、改めて殺菌理論を構築し、条件の見直しを行った結果、殺菌・冷却時間を約30%短縮し、さらにおいしくすることができました。



ワークスタイル変革

2015年3月から稼働しているキューピータマゴ東京工場では、商品を生産するだけでなく、商品を生み出すという新しい役割を担うために、工場のコンセプトを「ファクトリーコミュニケーション」とし、コミュニケーションのためのさまざまな場を設けています。